

環境保全の施策 (データ編)

第1章 生活環境

第1節 環境汚染の防止

1】大気汚染の防止

1 大気汚染の現状

(1) 二酸化硫黄（SO₂）

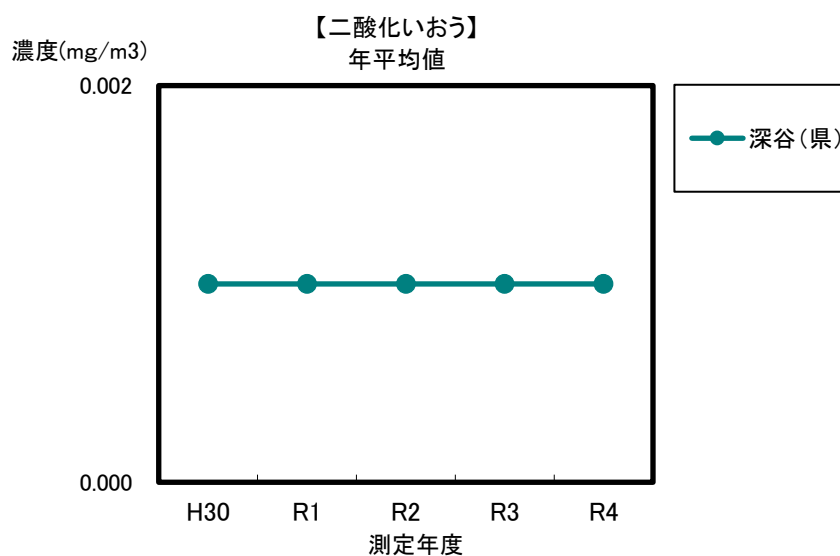
① 二酸化硫黄の監視結果（環境基準の達成状況）

（令和4年度）

区分	評価		測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	長期的評価		短期的評価		
					日平均値の 2%除外値 (ppm)	日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上 連続の有無	日平均 値が 0.04ppm を超え た日数 (日)	1時間値 が 0.1ppm を超えた 時間 (時間)	1時間 値の 最高値 (ppm)
深谷 (県)	長期	○	8,638	0.001	0.001	無	—	—	—
	短期	○			—	—	0	0	0.004

長期的評価 … 年間の1日平均値のうち測定値の高い方から2%の範囲を除外した値が0.04ppmを超えず、かつ、年間を通じて1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しない場合に環境基準に適合します。

短期的評価 … 年間の1日平均値がすべての有効測定日（1日20時間以上測定が行われた日をいう。）で0.04ppm以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において0.1ppm以下の場合に環境基準に適合します。



※西福島（県）については、H22以降、測定を休止中

(2) 浮遊粒子状物質（SPM）

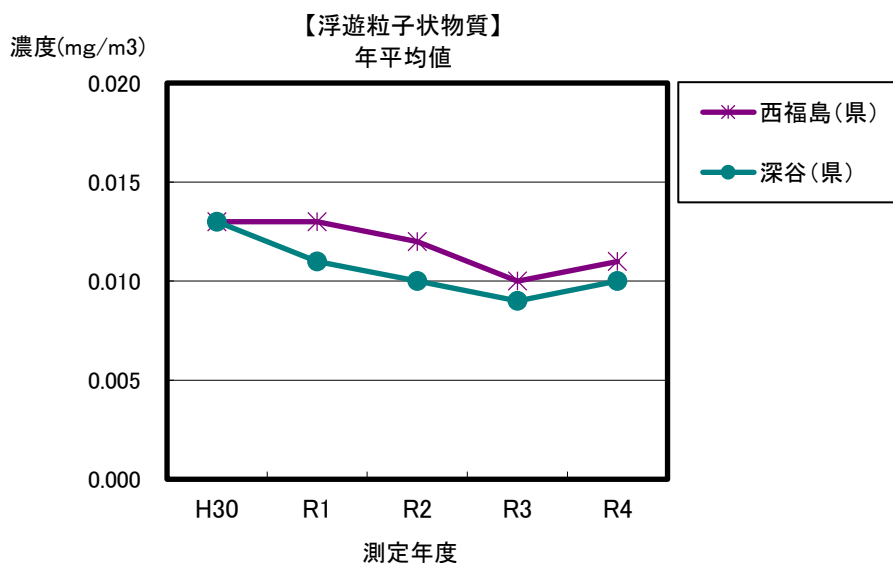
① 浮遊粒子状物質の監視結果（環境基準の達成状況）

（令和4年度）

区分	評価	測定時間 (時間)	年平均 (mg/m ³)	長期的評価		短期的評価		
				日平均 値の 2% 除外値 (mg/m ³)	日平均 値が 0.1mg/m ³ を超え た日が2 日以上 連続の 有無	日平均 値が 0.1mg/m ³ を超え た日数 (日)	1時間値 が 0.20mg/m ³ を超えた 時間 (時間)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
西福島 (県)	長期	8,688	0.011	0.027	無	—	—	—
	短期			—	—	0	0	0.102
深谷 (県)	長期	8,276	0.010	0.024	無	—	—	—
	短期			—	—	0	0	0.060

長期的評価 … 年間の1日平均値のうち測定値の高い方から2%の範囲を除外した値が0.10 mg/m³を超えず、かつ、年間を通じて1日平均値が0.10 mg/m³を超えた日が2日以上連続しない場合に環境基準に適合します。

短期的評価 … 年間の1日平均値がすべての有効測定日（1日20時間以上測定が行われた日をいう。）で、0.10 mg/m³以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において0.20 mg/m³以下の場合に環境基準に適合します。



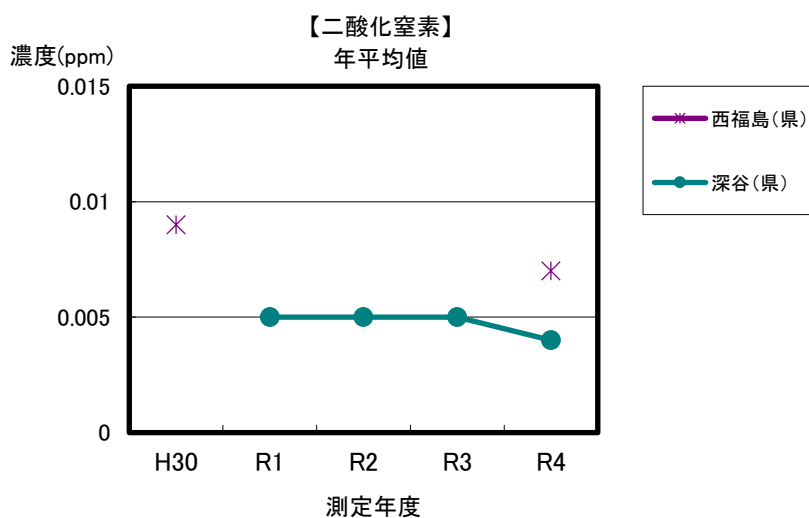
(3) 二酸化窒素 (NO₂)

① 二酸化窒素の監視結果（環境基準の達成状況）

（令和4年度）

区分	評価	総測定時間数 (時間)	平均値 (ppm)	日平均値の 年間98%値 (ppm)	日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 (日)
西福島 (県)	○	6,725	0.007	0.015	0
深谷(県)	○	8,625	0.004	0.009	0

評価 … 年間の1日平均値のうち、低い方から数えて98%目に当たる値（1日平均値の年間98%値）が0.06ppm以下の場合に基準に適合します。



※深谷(県)のH30値は、年間測定時間が不足

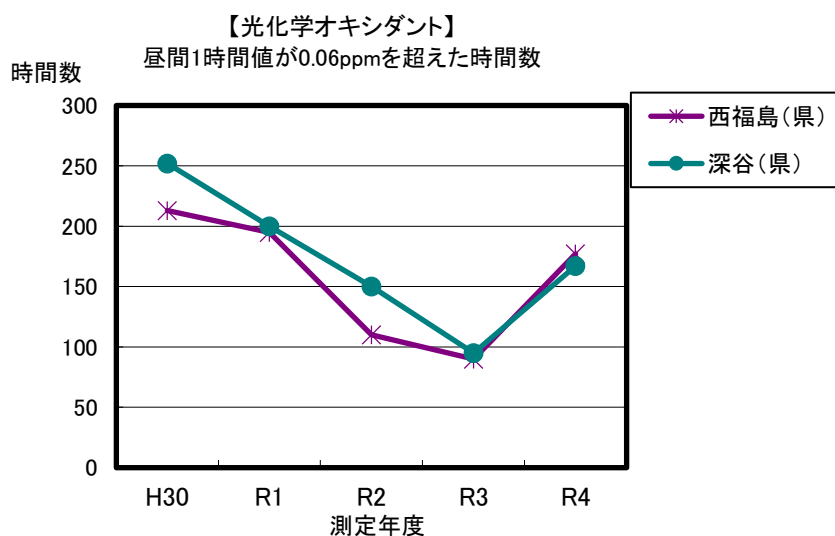
※西福島(県)のR1~R3は、測定値なし

(4) 光化学オキシダント (O_x)

① 光化学オキシダントの監視結果（環境基準の達成状況）

区分		評価	昼間の 総測定 時 間	年平均値	1 時間値の 最高値	1 時間値が 0.06ppm を 超えた時間
西福島 (県)	H30	×	5,429	0.035	0.086	213
	R1	×	5,306	0.034	0.098	195
	R2	×	5,430	0.033	0.080	110
	R3	×	5,426	0.035	0.079	90
	R4	×	5,426	0.034	0.089	177
深谷 (県)	H30	×	5,428	0.047	0.088	252
	R1	×	5,451	0.036	0.103	200
	R2	×	5,329	0.035	0.083	150
	R3	×	5,429	0.036	0.082	95
	R4	×	5,436	0.035	0.081	167

※環境基準：昼間（午前5時から午後8時までの時間帯）の1時間値が、0.06ppm以下の場合適合
 評 価 … 昼間（午前5時から午後8時）の1時間値の最高値が0.06ppm以下
 である場合に基準に適合します。



全国で、令和3年度に光化学オキシダントを測定した測定局は1,180局でした。このうち環境基準を達成したのは一般局で2局（0.2%）、自排局で0局（0%）であり、達成状況は依然として極めて低い水準となっています。

（令和3年度 大気汚染状況…環境省ホームページより抜粋）

2 大気汚染の対策

(1) 粉じん対策

① 粉じん対策に関する届出

市条例による規制については、平成30年度に3件（設置3件）の届出がありました。令和元年度の届出は4件（設置1件、変更3件）、令和2年度に5件（変更5件）、令和3年度に6件（設置1件、廃止2件、変更3件）、令和4年度に2件（設置1件、廃止1件）でした。

2】騒音・振動、悪臭の防止

1 騒音・振動の状況

(1) 住居地域における騒音

①環境騒音測定結果

（令和4年度）

区 分		基準値 (dB)		適合率 (%)	
		昼 間 6時～22時	夜 間 22時～6時	昼 間	夜 間
一般地域	A 地域	55	45	100 (2/2)	100 (2/2)
	B 地域	55	45	100 (2/2)	100 (2/2)
	C 地域	60	50	100 (2/2)	100 (2/2)
	全体 (A+B+C)	—	—	100 (6/6)	100 (6/6)

（注）（ ）内は環境基準適合地点数／測定地点数

(2) 高速自動車道における騒音

①高速自動車道騒音測定結果

（令和4年度）

区分	調査地点	基準値 (dB)		結果 (dB)		適合率 (%)	
		昼 間 (6時～22時)	夜 間 (22時～6時)	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
北陸 自動車 道	柿崎区山谷	65	60	59	56	100	100
	大潟区九戸浜	70	65	55	53		
	頸城区手宮	65	60	52	49		
	春日山町1丁目	70	65	56	52		
	春日山町3丁目	70	65	53	50		
	名立区名立小泊	65	60	55	54		
	名立区名立大町	65	60	60	58		
	向 橋	65	60	47	45		

(3) 自動車道における騒音

① 自動車道における騒音測定結果

(令和4年度)

測定路線及び地点数	結果(適合戸数/評価戸数)
北陸自動車道 25.1km 一般国道 8 号 10.4kmのうち沿道 8 地点で実音測定。	98.1% (7,448 戸/7,595 戸)

② 環境基準値超過区間

(令和4年度)

路線名	環境基準値を超過した区間
北陸自動車道 一般国道 8 号 一般国道 253 号(1) 主要地方道上越新井線	大字中屋敷 ～ 大字富岡 名立区名立小泊 ～ 名立区名立大町 大字有間川 ～ 大字鍋ヶ浦 大字虫生岩戸 ～ 大字長浜 名立区名立大町 ～ 名立区名立大町 大字福田 ～ 大字東中島 春日山町 3 丁目 ～ 大字藤巻

(4) 自動車道における振動

① 道路交通振動測定結果

(令和4年度)

区 分	調査地点	基準値		結果 (dB)	
		昼間	夜間	昼間	夜間
北陸自動車道	柿崎区柿崎	なし	なし	46	41
	大潟区九戸浜	8時～19時 65	19時～8時 60	30	30
	頸城区榎井	なし	なし	41	36
	春日山町 3 丁目	8時～20時 70	20時～8時 65	34	34
	名立区名立小泊	なし	なし	31	30
一般国道 8 号	石橋 2 丁目	8時～20時 70	20時～8時 65	38	32
	国府 2 丁目	8時～19時 65	19時～8時 60	40	33
	名立区名立大町	なし	なし	30	30 未満

※規制基準の値及び時間帯は、地域によって異なります。

(5) 建設作業の騒音・振動

① 特定建設作業届出件数

作業区分		年度				
		平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
騒音 関係	くい打機 くい抜機	5	2	1	1	4
	びょう打機	0	0	0	0	2
	さく岩機	22	13	15	20	24
	空気圧縮機	2	1	3	0	2
	コンクリート プラント	1	0	0	0	0
	ブルドーザー トラクターショベル バックホウ	0	0	6	7	11
	合計	30	16	28	28	43
振動 関係	くい打機 くい抜機	5	2	1	1	5
	鋼球破壊	0	0	0	0	0
	舗装版破碎機	0	1	0	0	0
	ブレーカー	11	9	9	18	21
	合計	16	12	10	19	26

(6) 工場及び事業場騒音

① 協定工場基準遵守状況

区分\年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
立入延件数	92	90	90	90	90
基準遵守状況	92	90	88	88	88
遵守率(%)	100	100	98	98	98

(7) 新幹線による騒音

① 新幹線騒音測定結果

(令和 4 年度)

区分	調査地点	基準値	騒音測定値 (dB)
北陸新幹線	向橋	70	73

3】水質保全・排水処理対策の推進

1 水質汚濁の現状

(1) 河川等の水質

① 水質の調査結果（河川の BOD75%値、海域・湖沼の COD75%値）

水質汚濁防止法に基づく常時監視

・河川

（令和4年度）

河川名	測定地点	類型	基準値 (mg/L)	結果 (BOD) (mg/L)
渋江川	川倉地先	AA	1 以下	0.6
矢代川	瀬渡橋上流	AA	1 以下	0.5
保倉川	保倉川橋上流	A	2 以下	0.8
	吉野橋	A	2 以下	1.1
	三分一橋	A	2 以下	1.3
柿崎川	黒川橋	A	2 以下	1.1
	柿崎橋	A	2 以下	1.3
矢代川	新箱井橋	A	2 以下	0.7
飯田川	川浦橋上流	A	2 以下	0.8
名立川	名立大橋	A	2 以下	0.8
吉川	下條橋	B	3 以下	1.6
飯田川	千福橋	B	3 以下	1.1
青田川放水路	丸山橋	-	-	0.8※1

※1 …平均値

・海域

（令和4年度）

海域名	測定地点	類型	基準値 (mg/L)	結果 (COD) (mg/L)
直江津海域	No. 20	A	2 以下	2.0
	No. 17	A	2 以下	1.7
	No. 22	A	2 以下	2.1
	No. 23	A	2 以下	1.9
	No. 24	A	2 以下	1.9
西頸城地先 海域	No. 1	A	2 以下	1.7

② 独自調査結果（市及び関川をきれいにする連絡会）

・河川

（令和4年度）

河川名	測定地点	類型	基準値 (mg/L)	結果 (BOD) (mg/L)
飯田川	飯田橋	A	2以下	0.7
儀明川	向橋地内	—	—	0.5※2
大瀬川	滝寺地内	—	—	0.6※2
御館川	轟木橋	—	—	1.6※1
桑取川	有間川橋	—	—	0.8※1
岩戸川	河口	—	—	1.3※2
保倉川	長者島橋	A	2以下	1.1
新堀川	ポンプ場上流	—	—	2.0※2
潟川	五便橋	—	—	2.0※2
渋江川	信濃渡橋	AA	1以下	<0.5

飯田橋、信濃渡橋は関川をきれいにする連絡会、他は市独自の測定地点

※1…平均値 ※2…実測値（測定1回のみ）

・湖沼

（令和4年度）

湖沼名	測定地点	類型	基準値 (mg/L)	結果 (COD) (mg/L)
坂田池	帰雁荘脇	—	—	5.0※2
	橋立亭前	—	—	4.4※2
御手洗池	—	—	—	6.5※2
朝日池	坂ノ下	—	—	11.7 12※1
	内雁子	—	—	13.4 13※1
鵜の池	中央	—	—	9.3※2
中谷内池	東側	—	—	7.2※2

全て市独自の測定地点

※1…平均値 ※2…実測値（測定1回のみ）

(2) 水質汚濁事故

① 水質汚濁事故の内訳

令和4年度は21件の水質汚濁事故が発生しました。

区分	区分の内訳	件数
事故種類	油流出	20
	変色	0
	その他	1
発生源	個人	6
	事業所	4
	車両	7
	その他・不明	4
事故原因	ホームタンクからの灯油漏洩等の不注意	7
	施設や設備の管理及び操作ミス	2
	交通事故（自損事故を含む）	7
	不法投棄	0
	空き家にある容器から流出	0
	原因が特定できなかったもの	5

(3) 水銀汚染

① 関川の魚類の水銀調査結果

令和4年度は、保倉川のニゴイが暫定的規制値を超過しました。

区域	魚類	総水銀					メチル水銀				
		最高 (ppm)	最低 (ppm)	平均 (ppm)	0.4ppmを 超えた割合		最高 (ppm)	最低 (ppm)	平均 (ppm)	0.3ppmを 超えた割合	
					3年度	4年度				3年度	4年度
関川上流	ウグイ	0.27	0.08	0.15	0/6	0/6	—	—	—	—	—
関川中流	ウグイ	0.19	0.10	0.14	0/10	0/10	—	—	—	—	—
関川下流	ウグイ	0.12	0.10	0.11	0/6	0/6	—	—	—	—	—
	フナ	0.09	<0.01	0.05	0/6	0/6	—	—	—	—	—
	ニゴイ	0.13	0.08	0.10	0/3	0/3	—	—	—	—	—
	オイカワ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
渋江川	ウグイ	0.37	0.17	0.26	0/5	0/5	—	—	—	—	—
矢代川	ウグイ	0.38	0.19	0.25	0/3	0/3	—	—	—	—	—
櫛池川	ウグイ	0.14	0.09	0.11	0/5	0/5	—	—	—	—	—
保倉川	ウグイ	0.10	0.08	0.11	0/5	0/3	—	—	—	—	—
	フナ	0.03	0.03	0.03	0/3	0/3	—	—	—	—	—
	ニゴイ	0.10	0.04	0.07	0/1	0/3	—	—	—	—	—
計	—	—	—	0/53	0/53				—	—	

(注) 割合＝超過検体数／調査検体数 (注) 割合＝超過検体数／調査検体数

※魚介類の水銀の暫定的規制値

(昭和48年7月23日付環乳第99号厚生省環境衛生局長通達抜粋)

魚介類の水銀の暫定的規制値は総水銀としては0.4ppmとし、参考としてメチル水銀0.3ppm(水銀として)とした。ただし、この暫定的規制値は、マグロ類(マグロ、カジキ及びカツオ)及び内水面水域の河川産の魚介類(湖沼産の魚介類は含まない)については適用しないものである。

② 底質調査結果

事業場の排水口周辺の底質は、年度、検体ごとのばらつきは認められますが、令和4年度は最高が0.39ppmであり、環境省が示す暫定除去基準（25ppm）を超える地点はありませんでした。

（単位：ppm）

測定地点\年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
白田切川	3.3	4.1	3.2	7.2	7.2
渋江川 （日本曹達(株)西ヶ窪排水口直下）	0.28	0.05	0.30	0.30	0.23
関川 （日本曹達(株)東木島排水口直下）	0.04	0.07	0.03	0.09	0.08
渋江川 （(株)ダイセル排水口上流200m）	0.18	0.03	0.06	0.25	0.25
渋江川 （(株)ダイセル排水口上流高柳橋）	0.05	0.04	0.03	0.39	0.39
渋江川 （(株)ダイセル排水口直下）	0.05	0.05	0.02	0.21	0.21
保倉川 （信越化学工業(株)排水口直下）	0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01

（注）白田切川の底質は7.2ppmで、非汚染地域の河川底質の水銀濃度（通常0.2ppm以下、その多くは0.05ppm前後）を超えており、自然的原因によることを示している。

※底質の暫定除去基準

（昭和50年10月28日付環水管第119号環境庁水質保全局長通達抜粋）

水銀を含む底質の暫定除去基準（底質の乾燥重量当たり）は、海域においては次式より算出した値（C）以上とし、河川及び湖沼においては25ppm以上とする。ただし、潮汐の影響を強く受ける河口部においては海域に準ずるものとし、沿岸流の強い海域においては河川及び湖沼に準ずるものとする。

$$C = 0.18 \cdot \frac{\Delta H}{J} \cdot \frac{1}{S} \text{ (ppm)} \quad \left\{ \begin{array}{l} \Delta H = \text{平均潮差(m)} \\ J = \text{溶出率} \\ S = \text{安全率} \end{array} \right.$$

2 水質汚濁の対策

(1) 公共下水道の整備・接続促進

① 公共下水道の整備状況

(各年度3月31日現在)

年度	行政人口 A (人)	処理区域人口 B (人)	水洗化人口 C (人)	接続率 D C/B (%)	普及率 E B/A (%)
平成 30	192,068	117,008	111,313	95.1	60.9
令和元	190,042	118,068	112,798	95.5	62.1
令和 2	188,382	119,683	113,913	95.2	63.5
令和 3	185,892	120,193	114,592	95.3	64.7
令和 4	184,082	121,535	116,239	95.6	66.0

令和4年度末現在で、全市における普及率は66.0%（前年度比1.3ポイント上昇）、接続率は95.6%（前年度比0.3ポイント上昇）となりました。

(2) 農業集落排水施設への接続促進

① 農業集落排水施設の整備状況

(各年度3月31日現在)

年度	行政人口 A (人)	処理区域内人口 B (人)	水洗化人口 C (人)	接続率 D C/B (%)	普及率 E B/A (%)
平成 30	192,068	31,954	29,891	93.5	16.6
令和元	190,042	31,424	29,464	93.8	16.5
令和 2	188,382	30,790	29,086	94.5	16.3
令和 3	185,892	29,806	28,163	94.5	16.0
令和 4	184,082	28,049	26,609	94.9	15.2

令和4年度末現在で全市における普及率は15.2%（前年度比0.8ポイント減少）、接続率は94.9%（前年度比0.4ポイント上昇）となりました。

(3) 合併処理浄化槽の普及促進

① 合併処理浄化槽の設置支援事業実績

年度	申請件数 (件)	補助金交付額 (万円)
平成 30	51	約 1,728
令和元	53	約 2,330
令和 2	55	約 2,337
令和 3	60	約 2,642
令和 4	75	約 3,157

(4) 工場及び事業場の対策

① 特定事業場からの排水水の監視結果

年度	立入延件数 (件)	適合延件数 (件)	適合率 (%)	
			市	県全体
平成 30	114	109	95.6	93.1
令和元	106	101	95.3	93.4
令和 2	110	108	98.2	93.4
令和 3	106	103	97.2	93.4
令和 4	104	101	97.1	95.1

② 特定事業場からの排水水の排水基準抵触の項目

項目	年 度				
	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
pH(水素イオン濃度)	2	1	2	1	1
BOD(生物化学的酸素要求量)	2	2		1	2
COD(化学的酸素要求量)					
SS(浮遊物質)	3	3			2
抽出物質					
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物					
フェノール					
銅					
亜鉛					
クロム					
ふっ素					
大腸菌群数	1	1		1	1
ニッケル					
シアン					
鉛					
六価クロム				1	
総水銀					
トリクロロエチレン					
テトラクロロエチレン					
1.1.1-トリクロロエタン					
1.2-ジクロロエタン					
ジクロロメタン					
合 計	8	6	2	4	6

3 し尿処理の状況

①し尿処理状況

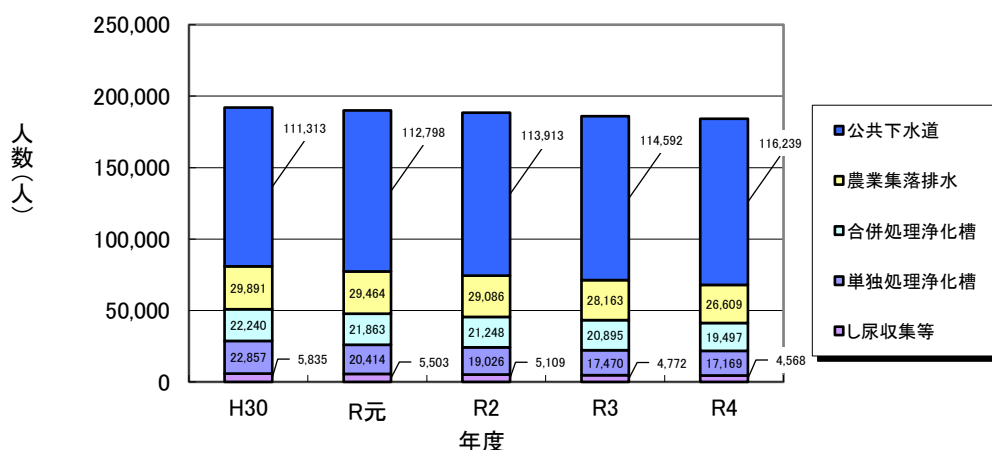
（令和4年度）

区 分			人数（人）	割合（%）
計画処理区域内人口			184,082	-
水洗化人口	生活雑排水 処理人口	公共下水道	116,239	63.1
		農業集落排水施設	26,609	14.5
		合併処理浄化槽	19,497	10.6
	生活雑排水 未処理人口	単独処理浄化槽	17,169	9.3
非水洗化人口（し尿収集等人口）			4,568	2.5

（注）汚水衛生処理率（公共下水道＋農業集落排水＋合併処理浄化槽）／計画処理区域内人口

※ 令和4年度の実績は、生活排水対策課の「浄化槽等処理人口調査」の数値を用いている。

②年度別し尿処理状況



③し尿収集の状況

区分\年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
し尿収集量 (kL)	6,568	6,323	5,752	5,662	5,490
浄化槽汚泥収集量 (kL)	47,136	46,881	45,729	46,750	43,472
計	53,704	53,204	51,481	52,412	48,962

4】地下水の保全、土壌汚染の防止

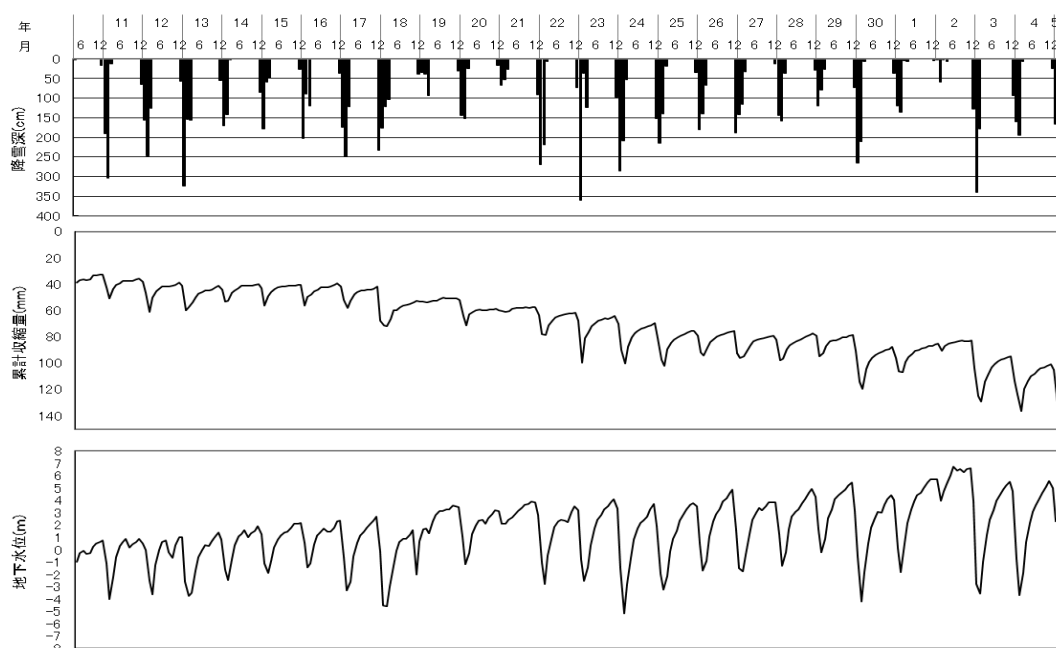
1 地盤沈下の現状

(1) 地下水位と地層収縮量

① 高田城址公園 G4 層観測井観測記録

令和3年度							令和4年度						
月	降雪量 (cm)	水位 (m)			収縮量 (mm)		月	降雪量 (cm)	水位 (m)			収縮量 (mm)	
		最高	最低	平均	月間	累計			最高	最低	平均	月間	累計
4	-	1.92	0.40	1.18	-5.00	109.36	4	-	1.53	-0.33	0.65	-6.20	113.46
5	-	2.83	1.92	2.42	-6.40	102.96	5	-	2.70	1.54	2.16	-3.70	109.76
6	-	3.65	2.83	3.23	-2.40	100.56	6	-	3.32	2.69	3.05	-1.80	107.96
7	-	4.27	3.64	3.97	-2.10	98.46	7	-	3.89	3.29	3.59	-2.20	105.76
8	-	4.67	4.26	4.46	-1.40	97.06	8	-	4.44	3.86	4.18	-1.80	103.96
9	-	5.06	4.66	4.87	-0.20	96.86	9	-	4.87	4.43	4.63	-0.80	103.16
10	-	5.41	5.05	5.22	-1.30	95.56	10	-	5.36	4.87	5.12	-1.20	101.96
11	-	5.69	5.41	5.52	-0.70	94.86	11	-	5.77	5.35	5.56	-1.30	100.66
12	92	5.92	-0.13	4.76	18.90	113.76	12	24	5.94	3.29	4.99	4.40	105.06
1	160	1.44	-3.05	-0.72	9.7	123.46	1	165	4.20	-2.36	2.32	25.10	130.16
2	193	-2.00	-6.45	-3.69	12.70	136.16	2	92	0.58	-1.85	-0.61	-6.60	123.56
3	6	-0.35	-3.83	-1.86	-16.50	119.66	3	1	2.47	-0.42	1.27	-10.90	112.66

② 地下水位・地層収縮経年推移



- ・地盤の収縮は冬期間に進行し夏期間に回復します。ただし、長期的には地盤は収縮しています。
- ・地下水位は冬期間に大量の地下水の汲上げにより低下し夏期間には回復します。

(2) 地下水揚水量

① 上越地域全体の県条例対象揚水設備の揚水量 (単位：万 m³)

区分\年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
年間揚水量	518	456	537	496	458
冬期間（12～3月）揚水量	214	192	273	244	205

(3) 水準測量

上越地域は国土交通省、新潟県、上越市が分担し、合計 150km の路線について水準測量を実施しました。上越市はそのうち 1 級路線 7.6km、2 級路線 58km を担当しました。

① 水準測量結果（沈下面積及び最大沈下量）

沈下量 期間 (年月)	上越地域全体								
	沈下量区分							計 km ²	最大沈下量 (mm)
	0～ 10mm	10～ 20mm	20～ 30mm	30～ 40mm	40～ 50mm	50～ 60mm			
19.9～20.9	103.60						103.60	9 (大潟区渋柿浜)	
20.9～21.9	176.63						176.63	8 (頸城区城野腰)	
21.9～22.9	172.14	5.73					177.87	17 (大字東稲塚新田)	
22.9～23.9	158.57	0.73					159.30	12 (新南町)	
23.9～24.9	141.91	46.74	2.02	0.03			190.70	30 (新南町)	
24.9～25.9	49.05						49.05	10 (新南町)	
25.9～26.9	70.44						70.44	6 (遊光寺浜)	
26.9～27.9	148.59	31.42	0.01				180.03	20 (子安)	
27.9～28.9	58.80						58.80	3 (下門前)	
28.9～29.9	25.70						25.70	5 (大潟区渋柿浜)	
29.9～30.9	149.07	38.97	2.65				190.70	28 (子安新田)	
30.9～元.9	53.95						53.95	5 (柿崎区馬正面)	
元.9～2.9	5.72						5.72	2 (大潟区渋柿五ヶ割)	
2.9～3.9	110.32	72.60	0.18				190.70	32 (子安)	
3.9～4.9	162.73	22.90	0.29				185.91	22 (子安)	

2 地盤沈下の対策

(1) 地下水採取に関する規制

①揚水設備数

（単位：本）

区分／年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
県条例対象揚水設備	325	321	319	318	316
市条例対象揚水設備	20,247	20,316	20,366	20,468	20,516

(2) 地盤沈下緊急時対策

①地盤沈下緊急時の注意報・警報発令月日

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
注意報の発令月日	1/24	—	12/18	12/31	1/27
警報発令月日	2/13	—	1/2	1/20	—

3 地下水汚染の現状と対策

(1) 地下水の水質の現状

①水質汚濁防止法に基づく常時監視

（令和 4 年度）

区分\年度	調査 地点数	環境基準 超過の有無	基準超過の概要
概況調査	4	なし	—
継続監視調査	6	あり	石 橋：クロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン 南 本 町：クロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン 南 城 町：クロロエチレン

5】化学物質等による汚染の防止

1 空間線量率

(1)上越地域の各消防署における空間線量率

①上越地域の各消防署における空間線量率測定結果の概要

測定を開始した平成24年6月1日から令和5年3月31日まで、1時間当たり0.016～0.16 μ Svの通常範囲を超えた数値を測定した実績はありません。

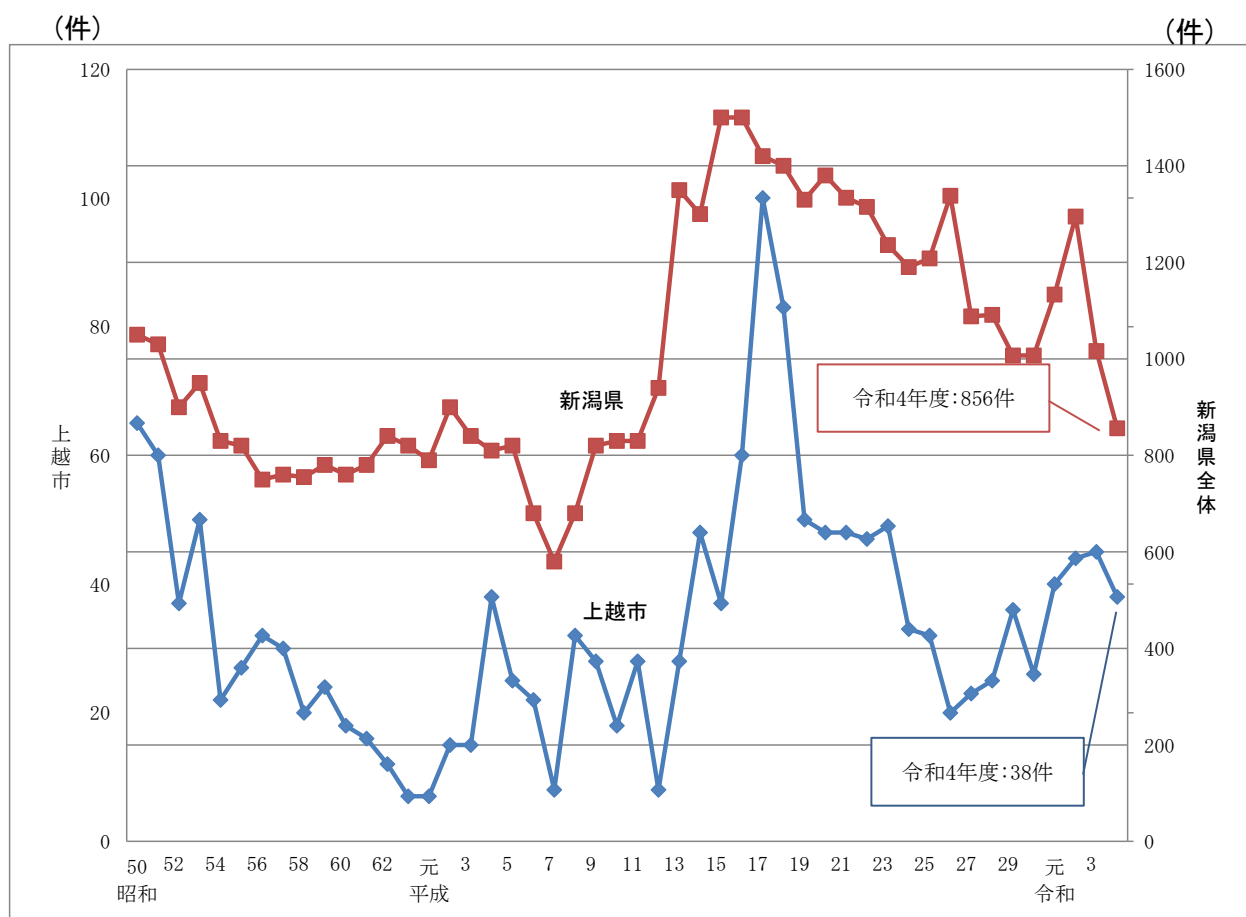
6】公害苦情や防止に関する取組

1 公害苦情処理等

(1)公害苦情の発生状況

①公害苦情件数年度推移

昭和48年度の142件を最高に年々減少傾向で推移しています。令和4年度は38件でした。



(2) 公害苦情の処理状況

① 公害苦情受理状況

(単位：件)

年度	合計		典型七公害							典型七公害以外	処理率 (%)
			大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭		
平成30	受理 件数	26(4)	0	0	0	17 (4)	0	0	9	0	83.3
	処理 件数	21(4)	0	0	0	13 (4)	0	0	8	0	
令和元	受理 件数	40(5)	0	0	0	15 (4)	1	0	21(1)	3	97.8
	処理 件数	39(5)	0	0	0	15 (4)	1	0	20(1)	3	
令和2	受理 件数	44(1)	0	2	0	14	1	0	17(1)	10	86.7
	処理 件数	38(1)	0	2	0	9	0	0	17(1)	10	
令和3	受理 件数	45(6)	1	4	0	14 (4)	2 (1)	0	15(1)	9	98.0
	処理 件数	45(5)	1	4	0	14 (4)	2 (1)	0	15(0)	9	
令和4	受理 件数	38(1)	2	2	0	12	0	0	19(1)	3	97.4
	処理 件数	38(0)	2	2	0	12	0	0	19(0)	3	

注：（ ）は前年度からの繰越件数。

2 公害防止に向けた取組

(1) 公害防止統括者及び公害防止管理者等の選任状況

① 公害防止統括者及び公害防止管理者等の選任状況 （令和5年3月31日現在）

区 分		県全体				市			
特定工場数		696				54			
公害防止統括者		430				44			
公害防止主任管理者		8				1			
公害防止 管理者	種類	第1種	第2種	第3種	第4種	第1種	第2種	第3種	第4種
	大気関係	7	1	49	89	3	0	14	11
	水質関係	5	294	11	33	2	18	3	1
	騒音関係	178				6			
	特定粉じん関係	0				0			
	一般粉じん関係	93				12			
	振動関係	181				6			
	ダイオキシン類関係	9				3			

公害防止管理者 … 国が行う公害防止管理者等国家試験の合格者、または、国家試験に合格した者と同等の資格を付与する資格認定講習の修了者

上越地区環境保全協議会 … 公害防止技術並びに公害関係法令等の研修習得を図り、上越地区における公害防止対策の推進、生活環境の保全を図ることを目的としています。会員は45社（市内は36社）です。

第2節 生活環境の維持・向上

1】ごみの適正処理の推進

(1) ごみ処理の状況

①ごみの排出状況

区分／年度		平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	
計画処理区域内人口（人）		193,517	191,563	189,572	187,478	185,357	
総排出量（t）*集団回収含む		66,818	67,744	67,503	64,186	63,774	
内訳 （t）	系統別	生活系ごみの排出量	43,760	43,816	45,349	42,604	42,592
		事業系ごみの排出量	23,058	23,928	22,154	21,582	21,182
	種類別	燃やせるごみ	43,473	44,840	45,899	43,833	44,483
		燃やせないごみ	5,215	5,159	5,237	4,726	4,094
		資源物	17,874	17,276	16,043	15,525	14,906
		有価物集団回収量	256	469	324	102	291
ごみの一人一日当たり排出量（g/日）		946	966	976	938	943	

(注) 生活系ごみとは、日常生活に伴って各家庭から排出されるごみをいい、事業系ごみとは、事業者が自ら処理施設へ直接搬入するごみ等です。

(注) 有価物集団回収量は事業者への聞き取りにて計上しています。

(注) 計画処理区域内人口は毎年度9月末の数値を使用しています。

②ごみの処理状況

(単位：t)

区分／年度		平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
計画処理区域内総処理量		66,818	67,744	67,503	64,186	63,774
内訳	焼却	48,131	49,376	50,632	48,170	48,458
	資源化 *集団回収含む	18,687	18,368	16,871	16,016	15,316

(注) 有価物集団回収量は事業者への聞き取りにて計上しています。

2】リサイクルの推進

(1) 廃食用油再生化事業

① 廃食用油の回収実績

(単位：L)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
回収量	7,686	7,080	6,877	6,986	6,360

(2) 農業用廃棄物の処理（畦シート・ハウスビニール等）

① 農業用廃棄物の回収実績

年度	農業用ポリ ・塩化ビニール等（t）	育苗箱（箱）	廃農薬（t）
平成 30	約 135	約 24,000	約 3.3
令和元	約 134	約 70,000	約 6.5
令和 2	約 162	約 85,000	約 9
令和 3	約 189	約 154,000	約 13
令和 4	約 100	約 29,000	約 3.3

3】環境美化の推進

(1) 全市クリーン活動の実施

① 全市クリーン活動の実施実績

年度\区分	参加団体数	参加人数（人）	回収量（kg）
平成 30	1,859	66,779	104,866
令和元	1,793	61,269	92,587
令和 2	1,699	47,913	82,188
令和 3	1,744	55,445	99,948
令和 4	1,724	59,576	113,527

(2) 不法投棄の状況

① 不法投棄物回収実績

（単位：t）

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
回収量	26	24	26	22	18

② 家電リサイクル法対象品目の不法投棄物回収実績

（単位：台）

品目\年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
テレビ	36	39	4	20	10
冷蔵庫	4	14	1	10	3
洗濯機	6	1	0	8	1
エアコン	1	1	0	6	0
計	47	55	5	44	14

③ 生活環境作業員の対応件数

（単位：件）

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
不法投棄	1,039	1,280	312	265	116
野焼き	39	46	53	59	43

(3) ごみヘルパー事業

① ごみヘルパー事業実績

区分/年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
支援世帯（世帯）	60	61	71	68	75
ヘルパー委嘱数（人）	52	56	66	66	69

4】景観形成の推進

1 歴史的建造物の保存・活用と美しい環境形成

(1) 上越市歴史的建造物等整備支援事業

①支援件数

(単位：件)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	
件数	2	2	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・旧頸城鉄道に関する鉄道車両遺産活用整備事業 (頸城区) ・楞巖寺山門茅葺屋根葺き替え工事 (柿崎区)

※当該補助の交付は、一つの認定事業につき、1年度あたり1回とし、3回を限度に交付できるため、表の件数は同一の認定事業が複数年に渡っているものがある。

(2) 景観に関する行為の届出

①景観計画区域内における行為の届出件数

(単位：件)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
件数	100	99	110	140	131

第2章 自然環境

第1節 自然環境との共生

1】生物多様性の保全等

(1) 鳥獣保護管理

① ツキノワグマ目撃件数

（単位：件）

暦年	件数	場 所
平成 30	88	合併前の上越市(20)、安塚区(6)、浦川原区(4)、大島区(2)、牧区(7)、柿崎区(1)、頸城区(6)、吉川区(1)、中郷区(15)、板倉区(2)、清里区(2)、三和区(1)、名立区(21)
令和元	98	合併前の上越市(23)、安塚区(6)、大島区(3)、牧区(6)、柿崎区(1)、頸城区(2)、吉川区(1)、中郷区(15)、板倉区(7)、清里区(1)、三和区(2)、名立区(31)
令和2	70	合併前の上越市(17)、安塚区(6)、浦川原区(2)、大島区(2)、牧区(10)、柿崎区(2)、吉川区(4)、中郷区(6)、板倉区(9)、清里区(2)、三和区(2)、名立区(8)
令和3	53	合併前の上越市(6)、安塚区(3)、浦川原区(1)、大島区(2)、牧区(12)、柿崎区(1)、吉川区(2)、中郷区(4)、板倉区(3)、清里区(3)、三和区(3)、名立区(13)
令和4	52	合併前の上越市(8)、安塚区(3)、浦川原区(2)、大島区(1)、牧区(9)、吉川区(4)、中郷区(8)、板倉区(4)、清里区(2)、三和区(7)、名立区(4)

詳細は、市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kankyo/kinkyuzi-bear.html>

2】開発事業に対する環境配慮の誘導

(1) 開発行為の対策

① 環境影響評価の実施件数

（単位：件）

年度	件数	事業名
平成 30	0	—
令和元	0	—
令和2	0	—
令和3	0	—
令和4	0	—

② 上越市水道水源保護条例に基づく事前協議の件数

（単位：件）

年度	平成 30	令和元	令和2	令和3	令和4
件数	0	0	0	0	0

第2節 自然環境の活用

1】緑地・公園の活用

(1)施設等の整備

①南葉高原キャンプ場利用人数

(単位：人)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
人数	11,343	11,044	7,519	10,444	10,882

(2)自然観察活動

①上越科学館における自然観察教室

(令和4年度)

事業名	実施日	会場	内容	参加者数 (人)
植物観察教室	4月10日	薬師山周辺	カタクリやヒメニラ等の花の観察のほか、クロマルハナバチ等の訪花昆虫も見ることができました。また、60年に1度というチンマザサの開花も見ることができました。	2
野鳥観察教室	4月17日	春日山周辺	メジロ等の10種類ほどの野鳥を観察し、それらの特性等について学びました。	1
地層観察教室	5月29日	フォッサマグマパークほか	断層観察等を通じ、大地の成り立ちや観察の基礎を学習するとともに、化石等の採集も行いました。	13
昆虫観察教室	7月31日	二貫寺の森	カブトムシなど、森林に棲む54種類もの昆虫を観察し、採集も行いました。	13
ブナ林探検教室	10月16日	信越トレイル	紅葉を楽しみ、タカやイヌワシを目の当たりにするなど、五感を通してブナ林を感じました。	12
冬の星座観察会	3月11日	金谷山	望遠鏡や双眼鏡での観察のほか、デジタル観望の手法でオリオン大星雲をきれいに見ることができました。	7

(3)啓発等の活動

①みどりのフェスティバルの実施内容

年度	開催日	来場者数（人）	会場等
平成 30	4月30日	約 5,500	高田城址公園
令和元	4月29日	約 5,500	
令和 2	4月29日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
令和 3	10月16日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
令和 4	10月15日	約 4,100	

②市内の緑の少年団の設置状況 (令和4年度)

団名	団員構成	団員数（人）
大島緑の少年団	大島中学校 1～3 年生	14
安塚緑と花の少年団	安塚中学校 1～3 年生	32
中郷緑の少年団	中郷中学校 1～3 年生	65
清里緑の少年団	清里小学校 4～6 年生	43
牧緑の少年団	牧小学校 1～6 年生	44
浦川原小緑の少年団	浦川原小学校 3～6 年生	95
上越緑の少年団	上越市の小学校 4～6 年生	21

(4) 森林

①市内の森林整備面積 (単位：ha)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
整備面積	117	140	219	364	295

②水源保護かん養事業実施状況

水道水源保護地域内の植林箇所育成状況確認を実施しました。今後も継続して経過観察し、必要性に応じ施肥及び下草刈り等を実施することで、森林の保水力強化及び地滑り防止に努めました。

水源保護及び水道への関心を高めてもらうために、市内の小学4年生にパンフレットの配布、環境団体が主催するイベントに参加し、水源保護地域や、その水源の清浄度について広くPRしました。

また、平成29年度から浄水場近隣で開催されるイベントに併せて浄水場見学会を実施し、さらに平成30年度からは、年2回実施したところ参加者が増加し、より広くPRすることができました。

なお、令和2年2月から続いている新型コロナウイルスの影響から、令和2年度は夏及び秋ともにイベント中止、令和3年度は夏のみイベント中止となりましたが、令和4年度においては感染症対策におけるイベント開催の基準が見直されたことから、夏及び秋ともにイベントが開催されることとなりました。それに併せて浄水場見学会を実施したところ、過去最多を更新する参加者数となりました。

(単位：人)

年度		平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
浄水場見学会 参加者	夏	46	60	0(中止)	0(中止)	241
	秋	75	69	0(中止)	196	230
	計	121	129	0	196	471

(5) 市民の森

①くわどり市民の森利用人数 (単位：人)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
人数	6,114	5,219	4,160	5,557	6,454

②二貫寺の森利用人数 (単位：人)

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
人数	430	1,024	536	307	578

(6) 都市公園

①都市公園の整備状況 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

年度	総合公園	地区公園	近隣公園	街区公園	運動公園	広域公園	特殊公園 (歴史・風致)	合計
平成 30	2 (74.5)	2 (8.5)	5 (6.3)	123 (25.9)	3 (29.9)	1 (48.0)	2 (11.9)	138 (205.0)
令和元	2 (74.5)	2 (8.5)	5 (6.3)	128 (27.8)	3 (32.2)	1 (48.0)	2 (11.9)	143 (209.2)
令和 2	2 (74.5)	2 (8.5)	5 (6.3)	128 (27.8)	3 (32.2)	1 (48.0)	2 (11.9)	143 (209.2)
令和 3	2 (74.5)	2 (8.5)	5 (6.3)	128 (27.8)	3 (32.2)	1 (48.0)	2 (11.9)	143 (209.2)
令和 4	2 (74.5)	2 (8.5)	5 (6.3)	129 (28.3)	3 (32.2)	1 (48.0)	2 (11.9)	144 (209.7)

※上段は公園の箇所数、下段は面積 (ha)

※各面積は小数第二位 (ha) を四捨五入。合計は各公園面積 (㎡) の合計値。

②パークパートナーシップ実施公園数

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
実施公園数 (箇所数)	118 (136)	118 (136)	118 (136)	118 (136)	119 (137)

※下段 () は都市公園以外を含めた実施数

2】環境保全型農業の推進

(1) 環境保全型農業の推進

①環境保全型農業直接支払交付金の交付者数及び取組面積の実績

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
交付者数	64 組織	56 組織	48 組織	43 組織	39 組織
取組面積 (ha)	931	921	878	648	759

第3章 地球環境

第1節 地球温暖化対策の推進

1】省エネルギーの推進

(1) 省エネルギーシステムの導入

① リージョンプラザ上越の ESCO 事業導入の成果（導入前と各年度の比較）

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
光熱水費の削減額（電気、ガス、水道）（千円）	26,700	26,455	31,785	31,542	26,987
二酸化炭素削減率（%）	30.0	29.6	39.0	39.8	29.1

※コロナ禍の影響により通常営業に戻っていない状況と、エネルギー価格高騰の影響で設備稼働の利用が積極的に抑制されたことに伴い、想定を上回る効果があったもの。

② うみてらす名立の ESCO 事業導入の成果（導入前と各年度の比較）

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
光熱水費の削減額（電気、ガス、水道）（千円）	24,290	25,173	36,770	34,179	31,423
二酸化炭素削減率（%）	30.1	30.5	39.7	36.2	35.4

③ 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の ESCO 事業導入の成果（導入前と各年度の比較）

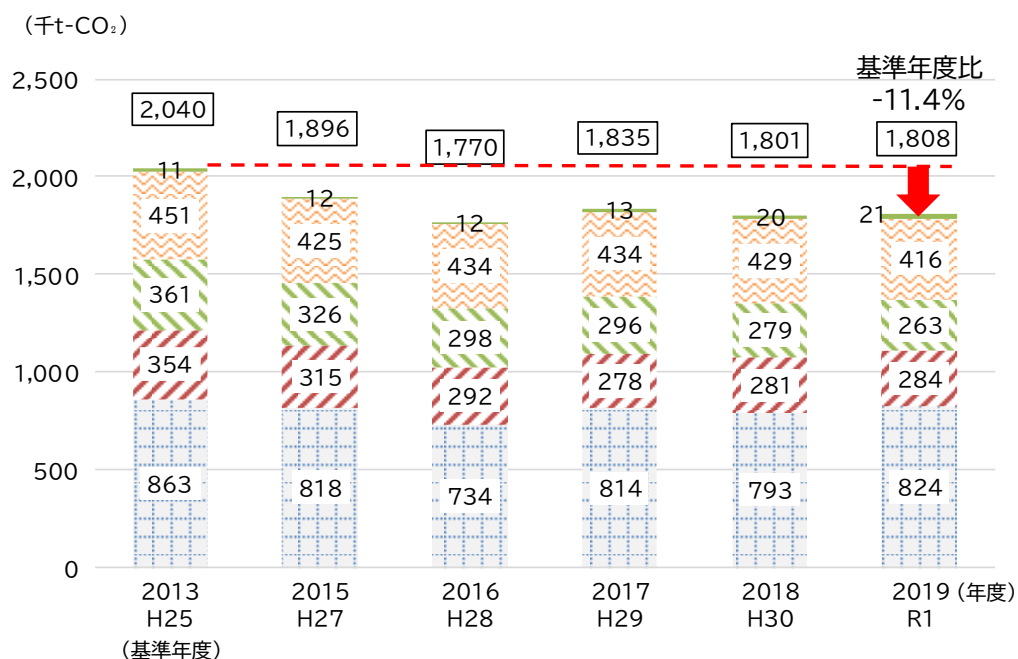
年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
光熱水費の削減額（電気、ガス、水道）（千円）	6,203	8,777	15,771	10,414	10,999
二酸化炭素削減率（%）	19.1	23.6	51.6	32.7	37.2

(2) 地球温暖化対策実行計画の策定

① 市全域の温室効果ガス排出量の推移

市全域の温室効果ガス排出量の算定については、国の各種統計値等を用いて算定しています。集計方法の変更に伴い統計値の一部が改定されたこと、市が独自に産業部門（製造業）の算定方法を変更したことに伴い、令和5年2月に策定した「第2次地球温暖化対策実行計画」において、温室効果ガス排出量の見直しを行いました。

2019（令和元）年度の市全域からの温室効果ガス排出量は、1,808千t-CO₂となりました。基準年度である2013（平成25）年度と比較して、232千t-CO₂（11.4%）の減少となりました。

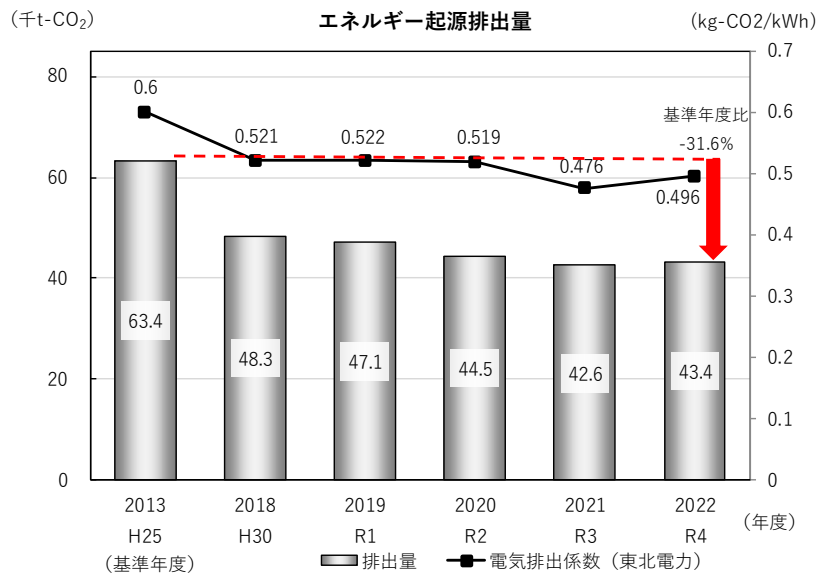


- ※ グラフの数値は、下から順に産業部門、民生業務部門、民生家庭部門、運輸部門、廃棄物部門の温室効果ガス排出量を表す。
- ※ 市全域からの温室効果ガス排出量は、国の各種統計値等を収集して算定しており、公表されるまでに数年を要するデータがあるため、直近の排出量の実績は2019（令和元）年度（3年間の差）になります。

②市役所の事務事業の温室効果ガス排出量の推移

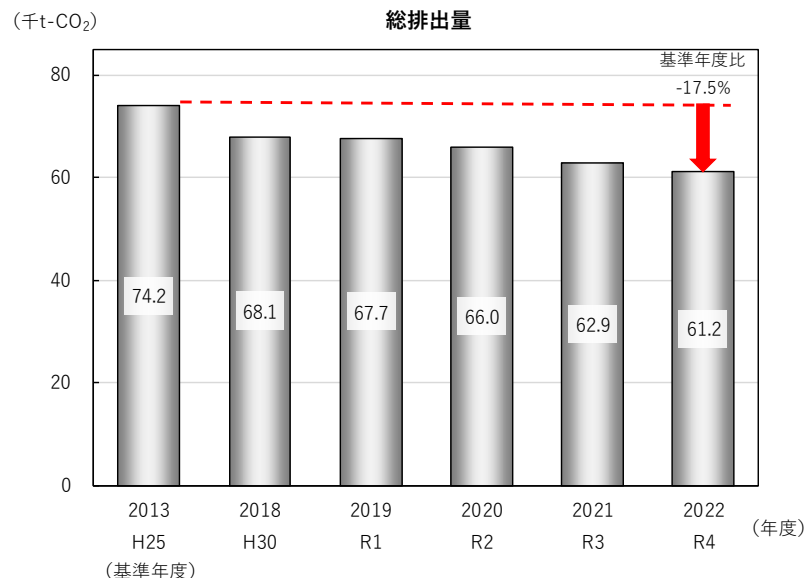
市の事務事業の温室効果ガス排出量については、電気や灯油などの使用量に排出係数（どれだけCO₂を排出しているか示す指標）を乗じて算定しています。各種排出係数は法令で定められた値を用いていますが、電気の使用に伴う排出係数については、電力会社の年次の排出係数を用いています。

2022（令和4）年度の市役所の事務事業からのエネルギー起源の温室効果ガス排出量は、43.4千t-CO₂となりました。基準年度である2013（平成25）年度と比較して、20.0千t-CO₂（31.6%）の減少となりました。



※ エネルギー起源温室効果ガスとは、化石燃料（都市ガス、石油等）の燃焼や化石燃料を燃焼して得られる電気の使用に伴って排出される温室効果ガスのこと。この他、化石燃料によらない一般廃棄物の焼却や下水・尿の処理等による排出は非エネルギー起源温室効果ガスという。

また、非エネルギー起源も合わせた総排出量は、61.2千t-CO₂となりました。基準年度である2013（平成25）年度と比較して、13.0t-CO₂（17.5%）の減少となりました。



2】再生可能エネルギーの導入

(1) 公共施設等における再生可能エネルギーの利用事例

区分	箇所数	設置施設等
太陽光発電	14 箇所	13 施設（詳細は 103 ページ、ほか木田庁舎には屋外照明の設置あり）
小水力発電	1 箇所	正善寺浄水場（ほか柿崎川浄水場は民間のマイクロ水力発電あり）
消化ガス発電	1 箇所	下水道センター
ごみ焼却発電	1 箇所	クリーンセンター
バイオガス利用	1 箇所	汚泥リサイクルパーク
下水熱利用（融雪）	1 箇所	保健センター（実験的設置、現在休止中）
地中熱利用（融雪）	3 箇所	小林古径記念美術館、上越妙高駅前広場（西口）、ガス水道局
雪冷熱利用（冷房）	3 箇所	安塚小学校、安塚中学校、キューピットバレイセンターハウス
雪冷熱利用（冷蔵）	2 箇所	ユキノハコ、和田雪室（民間での利用）

(2) 風力発電施設の設置

①風力発電施設の概要と実績（※令和2年度末をもって全施設停止）

項目		1号機	2号機	3号機	名立区
設置年度 (停止年度)		平成 12 (平成 29)	平成 13	平成 14	平成 15
設置場所		みなと風車公園 (港町 1)	三の輪台いこいの広場 (五智国分)		うみてらす名立 (名立区)
メーカー		TACKE 社 (ドイツ)	NEG-Micon 社 (デンマーク)		三菱重工社 (日本)
出力 (kW)		600	各基 750		600
平成 28 年度	発電量 (kWh)	641, 265	293, 127	531, 364	358, 041
	CO ₂ 削減量 (t) ※1	357	163	295	199
平成 29 年度	発電量 (kWh)	361, 150	378, 625	415, 846	2, 678
	CO ₂ 削減量 (t) ※2	198	207	228	1
平成 30 年度	発電量 (kWh)	—	526	425, 447	502, 023
	CO ₂ 削減量 (t) ※3	—	0. 3	222	262
令和 元年度	発電量 (kWh)	—	—	502, 754	—
	CO ₂ 削減量 (t) ※4	—	—	262	—
令和 2 年度	発電量 (kWh)	—	—	215, 700	—
	CO ₂ 削減量 (t) ※5	—	—	112	—

※1：発電量 1kWh 当たり、CO₂排出量を 0.556 kg として換算

※2：発電量 1kWh 当たり、CO₂排出量を 0.548 kg として換算

※3：発電量 1kWh 当たり、CO₂排出量を 0.521 kg として換算

※4：発電量 1kWh 当たり、CO₂排出量を 0.522 kg として換算

※5：発電量 1kWh 当たり、CO₂排出量を 0.519 kg として換算

(3) 太陽光発電

①市内公共施設の太陽光発電実績

施設名	発電出力 (kW)	発電量 (kWh)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
雁木通りプラザ	19.5	7,241	6,106	6,995
富岡小学校	20.0	11,706	10,800	11,471
市民プラザ	10.0	9,865	9,708	10,557
南三世代交流プラザ	5.0	4,043	4,093	4,346
港町特定公共賃貸住宅	10.0	4,109	3,334	573
市営子安住宅1号棟	5.0	6,843	5,952	7,018
市営子安住宅2号棟	5.0			
安塚中学校	30.0	未計測	未計測	未計測
豊原小学校（板倉区）	20.0	未計測	未計測	未計測
大町小学校	20.0	未計測	未計測	未計測
やちほ保育園	4.0	4,047	4,166	4,388
雪だるま物産館 （安塚区）	10.0	6,309	9,449	10,227
はまっこ保育園 （大潟区）	5.9	5,444	5,075	4,381
春日小学校	20.0	未計測	未計測	未計測
13施設（14か所）	184.4	59,607	58,683	59,956

②太陽光発電の補助実績（※平成30年度末をもって終了）

年 度	件数 (件)	出力合計 (kW)	補助金額 (円)
平成25年度までの累計	437	1,810.35	66,089,000
平成26	73	349.45	8,708,000
平成27	78	378.12	9,231,000
平成28	82	404.34	9,598,000
平成29	69	343.47	8,221,000
平成30	72	391.62	8,567,000
計	811	3,677.29	110,414,000

（注）開始年度：平成10年度、補助額：1kWあたり4万円、12万円限度（平成30年度）

(4) 水道小水力発電の発電実績

① 水道小水力発電の発電実績

発電量は、正善寺浄水場で消費する電気量の約 19.8%を賄い、電気料金の削減と環境負荷の軽減に寄与しています。（令和4年度実績）

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
発電量 (kWh)	113,407	193,204	265,650	370,186	355,567

(5) 消化ガス発電施設の導入

① 消化ガス発電の発電実績

年 度	発電量 (kWh)
平成 30	1,491,116
令和元	1,500,512
令和 2	1,455,018
令和 3	1,465,887
令和 4	1,514,245

(注1) 本格稼働開始は平成 28 年 12 月 14 日から。

(注2) 下水道センターで使用する電力の約 35%を賄っている。

(6) ごみ焼却発電施設の導入

① ごみ焼却発電の実績

年 度	発電量 (kWh)	売電量 (kWh)
平成 30	32,067,680	24,924,251
令和元	31,910,600	24,846,754
令和 2	33,603,150	26,298,517
令和 3	33,284,440	26,254,184
令和 4	32,046,875	25,187,631

(7) 雪氷冷熱エネルギーの利用

① 雪冷熱エネルギーを利用する施設

利用方法	施設名	貯雪量 (t)
雪冷房	キューピットバレイセンターハウスレストラン（安塚区） ※ふれあい昆虫館は休館中	1,539
	安塚中学校	660
	安塚小学校	150
	個人の雪室（板倉区）	20
雪冷蔵	JA えちご上越「利雪型米穀貯蔵施設」（安塚区）	548
	民間事業者の雪室（柿崎区）	500
	岩の原葡萄園	330
	和田雪室（安塚区）	330
	JA えちご上越「柿崎雪室」	160
	個人の雪室（吉川区）	150
	雪中貯蔵施設「ユキノハコ」（安塚区）	90
	簡易型雪室実験施設「信濃坂の雪室」（安塚区）	70
	JA えちご上越「あるるんの杜雪室」	20
計	13 施設	4,567

(8) 低公害車の活用

① 低公害車の保有台数

(単位：台)

区分 年度	天然ガス自動車	ハイブリッド自動車	電気自動車	プラグインハイブリッド自動車
平成 30	11	14	2	0
令和元	9	14	2	0
令和 2	7	13	2	0
令和 3	7	13	2	0
令和 4	7	13	3	1

(9) 新エネルギーシステムの設置支援

①ペレットストーブ補助実績

年度	件数（件）	補助金額(円)
平成25年度までの累計	45	3,715,000
平成26	18	1,556,000
平成27	14	1,221,000
平成28	10	909,000
平成29	7	635,000
平成30	8	724,000
計	102	8,760,000

(注) 開始年度：平成21年度、補助額：1/5、10万円限度（平成30年度）

3】拠点形成と交通ネットワークの構築

(1) 大規模開発の適正化

①大規模開発行為に係る開発協定の締結件数

(単位：件)

年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
件数	1	2	1	0	0

(2) 庁用自転車の導入

①庁用自転車の使用状況（木田第1庁舎設置分）

区分\年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
利用件数（件）	617	697	666	284	182
延走行距離（km）	688.7	782.6	570.7	371.2	346.4
燃料削減量（L）	62.6	71.1	51.9	33.8	31.5
台数（台）	4	4	4	4	4

(注) 燃料削減量は、1kmあたり0.0909リットルで換算

4】地産地消の推進

(1) 地産地消普及の取組について

①地産地消推進の店の認定数

(単位：店)

年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
認定店舗数	162	165	170	173	174

②地産地消推進の店プレミアム認定店の認定数

(単位：店)

年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
認定店舗数	-	-	-	-	16

(2) 学校給食における地産地消の取組

①学校給食における地場産野菜の使用割合

(単位：%)

年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
割合	14.0	17.6	13.3	18.0	12.6

第4章 環境学習

第1節 環境啓発の推進

1】環境学習の推進と事業者支援

1 啓発活動

(1) 環境フェアの開催

① 環境フェアの実施状況

年度	開催日	来場者数 (人)	テーマ・出展者数
平成30	6月24日	1,286	「ストップ温暖化～始めよう ぼくたち わたしたち ができること～」 出展団体・企業数：21団体等
令和元	6月30日	1,615	「ストップ温暖化～始めよう ぼくたち わたしたち ができること～」 出展団体・企業数：18団体等
令和2	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止		
令和3	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 (代替イベントとして環境フェアポスター展開催)		
令和4	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 (代替イベントとして環境フェアポスター展開催)		

(2) 地球環境学校（合併前の上越市）

① 地球環境学校利用人数

(単位：人)

年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
人数	5,744	5,580	5,476	6,321	5,711

(3) 「環境出前講座」の実施

① 環境出前講座実施状況

年度	回数	講座内容	人数(人)
平成30	22	川学習、リサイクル工作など	901
令和元	13	川学習	500
令和2	5	川学習	149
令和3	8	川学習	258
令和4	8	川学習	278

(4) 環境学習会の開催

① 環境学習会の実施状況

(令和4年度)

実施月	テーマ	人数（人）
5月	海浜植物・海洋ごみ	37
5月	グリーンカーテン	17
6月	地球温暖化・グリーンカーテン	17
8月	海浜植物・海洋ごみ	18
8月	海洋ごみ	12
9月	海洋ごみ	119
10月	海浜植物・海洋ごみ	19
合 計		239

(5) 環境イベント等への参加

① 環境イベント等への参加状況

(令和4年度)

実施月	イベント（実施内容）	人数（人）
5月	サイエンス広場（パネル展示）	-
6月	ふるさと上越自然散策（かたくりの道辺）（パネル展示）	-
10月	みどりのフェスティバル	199
10月	越後謙信 SAKE まつり（ティッシュ配布）	-
10月	にいがた環境フェスティバル（パネル展示）	-
11月	青少年のための科学の祭典	612
合 計		811

※人数は、体験ブース来場者数

2】市民、事業者との協働による取組の推進

1 環境マネジメントシステムと市の取組

(1)市の取組

①目標管理（環境関連事業）

全62事業のうち

- A 計画どおりに実施し達成：49事業
- B 見直し・改善の必要があるが達成：2事業
- C 目標に基づき実施したが未達成：4事業
- D 見直し・改善の必要があり未達成：0事業
- その他 事業が終了、統合もしくは休止中の事業：7事業

【未達成項目の内容】

判定	事業No.	事業名	担当課	目標	実施状況	見直し・改善内容
C	24	生活環境保全美化対策事業	生活環境課	・全市クリーン活動 全町内会に参加を呼びかけ、空き缶や散乱ごみなどの回収・清掃活動を実施する。 目標参加人数 62,000人	参加者数 59,536人	コロナ禍により清掃活動の規模が縮小されたまま現在に至っていると推察される。引き続き、清掃活動を支援し参加者数の増加を図っていく。
C	37	自然循環型農業推進事業	農政課	・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取組、有機農業の取組の支援や普及・啓発を実施することにより、環境保全型農業の取組面積について、令和元年度と同程度を維持する。	・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取組や、有機農業の取組を行っている農業者に対し、環境保全型農業直接支払交付金を活用し支援を実施しているほか、有機JAS認証、GAP認証取得に対する補助金により支援を実施。 ・取組人数：462人（R3：503人） ・取組面積：1,513ha（R3：1,572ha） 【参考】上越市有機JAS認証取得事業補助金 事業申請者：2経営体 申請面積：12.71ha	みどりの食料システム法に基づく計画認定制度や、環境保全型農業直接支払交付金事業を農業者に周知し、取組の拡大を図る。
C	39	街灯整備・維持管理事業	市民安全課	・町内会が管理する防犯灯のLED化率を90%以上とする。	・全町内会に対して、R4年度末での防犯灯LED化補助金の終了を連絡。活用する場合は検討いただくよう依頼した。 ・R5.3月末時点での防犯灯LED化率：89.7%	・町内会に対して、引き続き新設・灯具変更等の際はLED化を依頼していくほか、LED化しているが市への申請が行われていない防犯灯の把握を行い台帳の整理を進めていく。
C	42	学校給食での地場産野菜の使用拡大（予算事業なし）	教育総務課	・学校給食において青果物の地場産（上越市産）使用割合 令和4年度目標 16.0%	・学校給食において青果物の地場産（上越市産）使用割合 令和4年度実績 12.58%	冬は地場産の生産量が少ないため、12月末までの実績から割合が減少した。今後もJA及び各区食材納入業者と連携し、引き続き地場産野菜の使用率向上に努めていく。

第4章 環境学習（環境の状況）

・55 事業達成状況一覧（全62事業のうち、網掛けの7事業を除く）

分野	基本方針	主要施策	取組主管課	事業	事業No.	令和4年度		備考
						取組区分		
生活環境：快適な生活空間を確保した循環型社会を目指す								
環境汚染の防止								
大気汚染の防止								
		環境保全課	大気汚染対策事業	1	A:計画通りに実施し達成			
騒音・振動、悪臭の防止								
		環境保全課	騒音・振動対策事業	2	A:計画通りに実施し達成			
水質保全・排水処理対策の推進								
		環境保全課	水質汚濁対策事業	3	A:計画通りに実施し達成			
		生活環境課	し尿収集事業	4~5	A:計画通りに実施し達成			
		生活排水対策課	生活排水対策事業	6	A:計画通りに実施し達成			
地下水の保全、土壌汚染の防止								
		環境保全課	地盤沈下対策事業	7	A:計画通りに実施し達成			
化学物質等による汚染の防止								
		環境保全課	放射線モニタリング情報の周知等	8	A:計画通りに実施し達成			
生活環境の維持・向上								
ごみの適正処理の推進								
		生活環境課	清掃総務管理費	9	A:計画通りに実施し達成			
		生活環境課	ごみ収集運搬事業	10~14	A:計画通りに実施し達成			
		生活環境課	ごみ処理対策事業	—				平成29年度で終了
		生活環境課	ごみ処理対策事業	15~17	A:計画通りに実施し達成			
		生活環境課	廃棄物処理施設整備事業	—				平成29年度で終了
リサイクルの推進								
		生活環境課	資源物分別収集事業	18~23	A:計画通りに実施し達成			
環境美化の推進								
		生活環境課	生活環境保全美化対策事業	24	C:計画通りに実施しているが未達成			
		生活環境課	生活環境保全美化対策事業	25~27	A:計画通りに実施し達成			
景観形成の推進								
		都市整備課	景観デザイン事業	28	A:計画通りに実施し達成			
自然環境：自然と共生した社会を目指す								
自然環境との共生								
生物多様性の保全								
		環境保全課	自然環境保全推進事業	29	A:計画通りに実施し達成			
		環境保全課	鳥獣保護管理事業	30	A:計画通りに実施し達成			
開発事業に対する環境配慮の誘導								
		環境保全課	環境政策総務事業（環境影響評価会議）	31	A:計画通りに実施し達成			
自然環境の活用								
緑地・公園の活用								
		農林水産整備課	くわどり市民の森維持管理及び運営事業	32	A:計画通りに実施し達成			
		農林水産整備課	森林保育管理事業	33	A:計画通りに実施し達成			
		都市整備課	都市公園整備事業	34~35	A:計画通りに実施し達成			
		都市整備課	都市公園整備事業	—				令和3・4年度実施なし
		都市整備課	公園管理費	36	A:計画通りに実施し達成			
環境保全型農業の推進								
		農政課	自然循環型農業推進事業	37	C:計画通りに実施しているが未達成			
地球環境：低炭素社会を目指す								
地球温暖化対策の推進								
省エネルギーの推進								
		環境保全課	環境政策総務事業（省エネルギーの推進）	38	A:計画通りに実施し達成			
		市民安全課	街灯整備・維持管理事業	39	C:計画通りに実施しているが未達成			
省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入								
		環境保全課	省エネルギー・新エネルギー普及推進事業	—				環境学習啓発事業に統合
		環境保全課	省エネルギー・新エネルギー普及推進事業	—				平成30年度で終了
		環境保全課	風力発電事業	—				R2年度で終了
地球環境：低炭素社会を目指す								
地球温暖化対策の推進								
省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入								
		生活排水対策課	下水道センター運転管理費	40	A:計画通りに実施し達成			
拠点形成と交通ネットワークの構築								
		都市整備課	土地利用対策費	41	A:計画通りに実施し達成			
地産地消の推進								
		教育総務課	学校給食での地産産野菜の使用拡大	42	C:計画通りに実施しているが未達成			
		農政課	地産地消認定店の拡大	43	B:見直し・改善の必要があるが達成			
環境学習：豊かな環境を継承する社会を目指す								
環境啓発の推進								
環境学習の推進と事業者支援								
		環境保全課	環境政策総務事業（学習・啓発）	44	A:計画通りに実施し達成			
		環境保全課	環境学習施設管理運営事業（学習・啓発）	45	A:計画通りに実施し達成			
		環境保全課	環境学習施設管理運営事業（地球環境学校）	46	A:計画通りに実施し達成			
		生活環境課	ごみ焼却施設管理運営費	47	A:計画通りに実施し達成			
		生活環境課	し尿処理事業	48	A:計画通りに実施し達成			
		農林水産整備課	林業総務費	49	A:計画通りに実施し達成			
		農林水産整備課	くわどり市民の森の維持管理及び運営	50	A:計画通りに実施し達成			
		農林水産整備課	二貫寺の森管理運営費	51	A:計画通りに実施し達成			
		社会教育課	謙信KIDSプロジェクト	52	B:見直し・改善の必要があるが達成			
市民、事業者との協働による取組の推進								
		環境保全課	環境政策総務事業（環境基本計画の推進）	53	A:計画通りに実施し達成			
		環境保全課	環境政策総務事業（環境政策審議会）	54	A:計画通りに実施し達成			
		環境保全課	環境マネジメントシステム事業	—				環境政策総務事業に統合
		環境保全課	環境政策総務事業（エコアクション21）	55	A:計画通りに実施し達成			

②法令順守（監視測定件数）

延べ2,030件の監視測定のうち、適合2,023件、法基準値不適合0件、自主基準値不適合7件

法令の名称	適用項目	対象施設等		測定数	適合数	法 基準値 不適合	自主 基準値 不適合
		名称	数				
廃棄物処理法ほか	浸出水、地下水	一般廃棄物最終処分場 (薬師山埋立地 ほか)	2	22	15	0	7
廃棄物処理法	汚泥、焼却灰及びばいじん	一般及び産業廃棄物 (上越市クリーンセンターほか)	11	99	99	0	0
大気汚染防止法	ばい煙	廃棄物焼却炉、ボイラー (上越市クリーンセンターほか)	15	26	26	0	0
悪臭防止法ほか	悪臭	悪臭原因物 (上越市クリーンセンター、汚泥リサイクルパーク)	2	3	3	0	0
騒音規制法ほか	騒音	圧縮機、ポンプ、送風機等 (柿崎コミュニティプラザ、雁木通りプラザほか)	68	82	82	0	0
振動規制法ほか	振動	圧縮機、ポンプ、送風機等 (教育プラザ、高田図書館ほか)	37	52	52	0	0
水質汚濁防止法ほか	排水ほか	排水処理施設 (下水道センター、農業集落排水処理施設ほか)	55	594	594	0	0
下水道法	排水	下水処理施設 (下水道センター、浄化センター)	7	84	84	0	0
ダイオキシン類対策特別措置法	排ガスほか	上越市クリーンセンター	1	6	6	0	0
労働安全衛生法	ダイオキシン類	廃棄物焼却炉 (上越市クリーンセンター)	1	2	2	0	0
肥料の品質の確保等に関する法律	有害物質	汚泥肥料 (汚泥リサイクルパーク)	1	1	1	0	0
県公衆浴場の配置、衛生措置の基準条例	水質	浴槽水 (ユートピアくびき希望館、八千浦交流館はまぐみ)	1	6	6	0	0
フロン排出抑制法	第1種特定製品	エアコン等	272	1,047	1,047	0	0
計			473	2,030	2,023	0	7

・法規制監視測定不適合の内容

区分	項目
自主基準値不適合	柿崎区車地最終処分場 放流水及び地下水（山側・海側井戸）の過マンガン酸カリウム消費量

2 事業者の環境マネジメントシステム

(1) エコアクション 21 認証取得支援説明会

① 支援説明会参加事業者及び認証取得数（市内事業者分のみ）

（単位：事業者）

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
参加事業者数	1	0	0	1	0
認証取得事業者	0	1	0	0	0

※令和3年度からはエコアクション21 地域事務局の上越環境科学センターが支援説明会を開催しています。

3 市内企業等の ISO14001 認証取得状況

① 市内企業等の ISO14001 認証取得数

（単位：事業者）

年度	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
認証取得事業者	26	27	25	28	29